

アグリ郷栗東が リニューアルオープン

2月24日～(道の駅アグリ郷栗東)

栗東ブランドを発信し続けて17年、黄色い新幹線「ドクターイエロー」が見える道の駅として愛されているアグリ郷栗東が、新しく生まれ変わりました。地元野菜の販売スペースが広くなり、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な野菜を買い求める皆さんでにぎわっています。



文化財を守るために訓練

1月28日(日吉神社)

「文化財防火デー」に伴い、野尻にある日吉神社で、「第64回文化財防火訓練」を行いました。野尻自治会の皆さん、女性消防隊、栗東市消防団らによる文化財の搬出や消火活動訓練などが行われ、貴重な文化財を守るための意識を高めました。



「栗東市防災会」が誕生

2月11日(コミュニティセンター治田東)

地域や職場などで防災活動のリーダーとなる「防災士」の活動を広げようと、市民の皆さんにより、「栗東市防災会」が設立されました。設立総会には約20人が参加。その後の講演では、地域防災のあり方について、参加者が知識を深めました。



タスキをつないで力走

2月18日(野洲川運動公園陸上競技場)

「第44回びわこ栗東駅伝クロカンin野洲川」が開催されました。雪がちらつく会場で県内各地から集まった83チーム、540人の選手が奮闘。野洲川と近江富士をバックにした自然豊かなコースで、熱い声援を受けながら、各部門でタイムを競いました。



民生委員・児童委員がサロン開催

2月23日(コミュニティセンター金勝)

金勝地域の民生委員・児童委員による「こんぜサロンカフェ」が開催されました。食べる力を鍛える口の体操や、認知症予防の講座、お茶の時間などで、参加者がゆったりとしたひとときを過ごしました。サロンは今後も定期的開催されます。



金勝児童館でひなまつり制作

2月23日（金勝児童館）

桃の節句にちなみ、金勝児童館で、ひなまつり制作が企画されました。子どもたちは、児童館の先生からひなまつりについての絵本を読んでもらった後、「ひなあられ入れ」作りに挑戦。牛乳パックに、ペンやシールでおひな様の顔を描き、親子で制作を楽しみました。



山林火災を想定し 消防訓練

2月25日（観音寺地域）

金勝山の山林火災を想定した栗東市消防団と湖南広域消防局中消防署の合同消防訓練が実施されました。参加者が一体となった訓練により、市の防災力向上に取り組みました。

かたつむ邸で 絵手紙教室

2月10日（かたつむ邸）

岡・目川地域の交流拠点として開設され、龍谷大学社会学部の実習の場でもある「かたつむ邸」で、絵手紙教室が開かれました。くりちゃん絵手紙の皆さんにより企画され、この日は、桃の節句にちなんだ絵手紙を制作。ひな人形やお手本を見ながら、参加者が思い思いに絵を描いて文章を添え、個性豊かな作品が完成しました。

